



第12期 運用報告会

【プログラム】

- 第12期運用報告
(セゾン投信 運用部長 兼 ポートフォリオマネージャー 瀬下哲雄)
- 投資家から見たセゾンファンド
(FCP代表/セゾン投信エグゼクティブアドバイザー 房前督明)
- 「つみたてNISA」による社会インパクトとセゾン投信の役割
(セゾン投信社長 中野晴啓)
- 皆さまからの疑問、質問にお答えするQ&Aコーナー



※本資料は、セゾン投信が作成した資料であり、当該内容について委託する販売会社が何ら示唆・保証するものではありません。

目次

「第12期運用報告/運用部」補足説明資料	3
----------------------	---

「投資家から見たセゾンファンド/房前督明」補足説明資料	21
-----------------------------	----

【付 録】

運用報告会でよく使われる用語集	33
-----------------	----

セゾン投信がお届けする動画ラインナップ	33
---------------------	----

お客さまの特徴&都道府県別お客さまマップ	34
----------------------	----

セゾン投信を知る出版物	34
-------------	----

【本資料で用いている略称】

S V G B：セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

達人：セゾン資産形成の達人ファンド

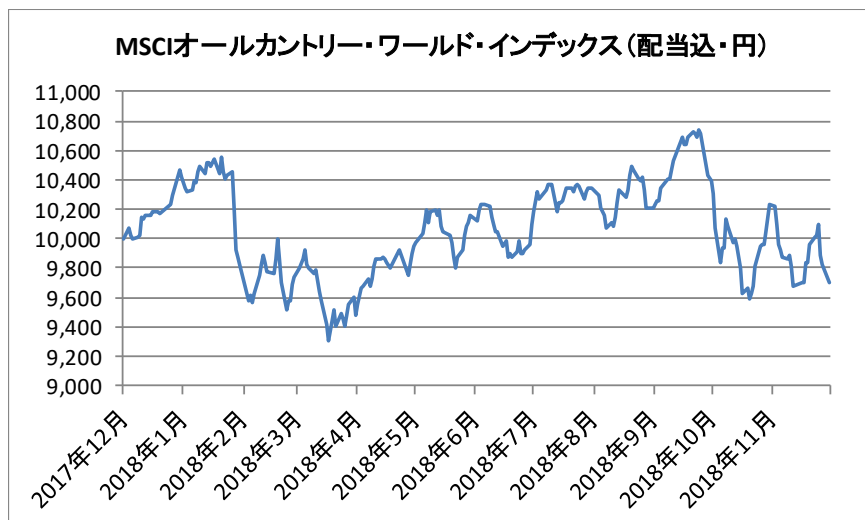
第12期運用報告会

セゾン投信株式会社 運用部

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を表したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。本資料は、セゾン投信が作成した資料であり、当該内容について委託する販売会社が何ら示唆・保証するものではありません。

株式市場の概況①

- ▶ 期中の株価指数(配当込)の動き*
- ▶ MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス【円】:-3.0%
- ▶ 2月と10月に大きく下落。



* 当社ファンドの基準価額への反映を考慮して、指数は2営業日前のものに当日のわが国の対顧客電信売買仲値を利用して円換算しています。

株式市場の概況②（地域）

- ▶ 北米を除いて下落。欧州と新興国は10%を超える下落。
- ▶ 北米は途中まで上昇したものの終盤に失速。新興国は途中まで大きく下落したものの、終盤は底堅い動き。
- ▶ 地域別株価指数(配当無)の騰落率
(2017/12/7→2018/12/6)*
 - ▶ MSCI先進国指数【ドル】:-3.5%
 - ▶ MSCI北米指数【ドル】:+1.4%
 - ▶ MSCI欧州指数【ユーロ】:-11.0%(ドル建て:-14.1%)
 - ▶ MSCI日本指数【円】:-9.1%(ドル建て:-8.9%)
 - ▶ MSCI太平洋指数(日本を除く)【ドル】:-8.2%
 - ▶ MSCI新興国市場指数【ドル】:-11.1%

* 当社ファンドの基準価額への反映を考慮して、2営業日前の情報を参考として掲載しています。

株式市場の概況③（セクター）

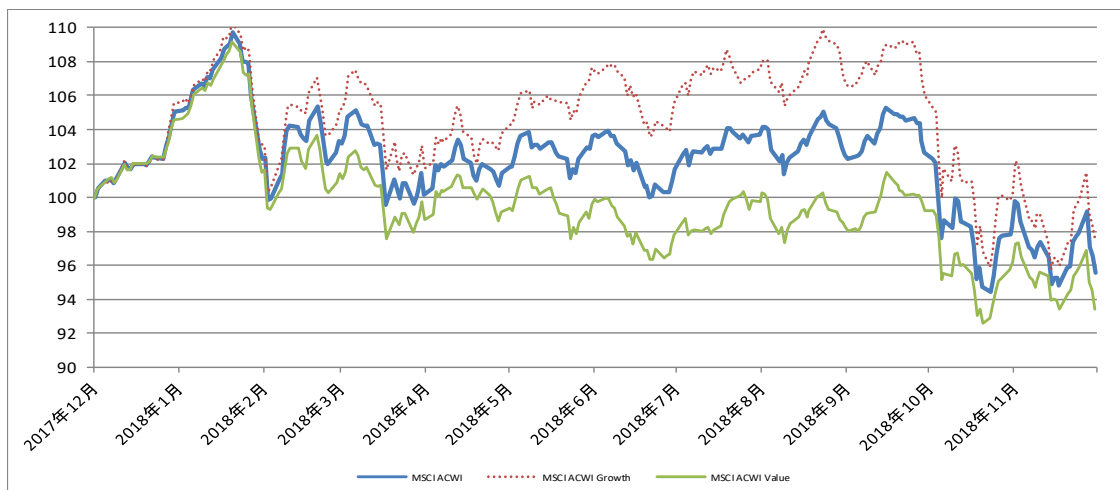
- ▶ 素材と金融が比較的大きく下落。
- ▶ ヘルスケアと情報技術が上昇。
- ▶ 主な業種別株価指数(配当無)の騰落率
(2017/12/7→2018/12/6)*
 - ▶ MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス【ドル】:-4.4%
 - ▶ 素材:-12.5%
 - ▶ 金融:-11.9%
 - ▶ 情報技術:+0.5%
 - ▶ ヘルスケア:+8.4%

* 当社ファンドの基準価額への反映を考慮して、2営業日前の情報を参考として掲載しています。

株式市場の概況④（スタイル）

▶ スタイル別指数の動き【ドル】（配当無） （2017/12/7→2018/12/6）*

- ▶ MSCIオールカントリーワールド・グロース・インデックス：-2.4%
- ▶ MSCIオールカントリーワールド・バリュー・インデックス：-6.6%

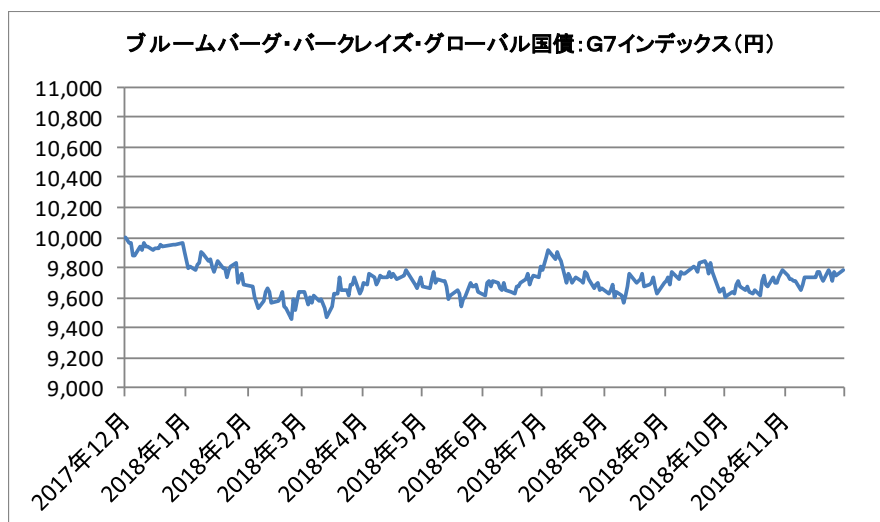


* 当社ファンドの基準価額への反映を考慮して、2営業日前の情報を参考として掲載しています。

債券市場の概況①

▶ 期中の債券指数の動き*

- ▶ ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債：
G7インデックス【円】：-2.2%



* 当社ファンドの基準価額への反映を考慮して、指数は2営業日前のものに当日のわが国の対顧客電信売買仲値を利用して円換算しています。

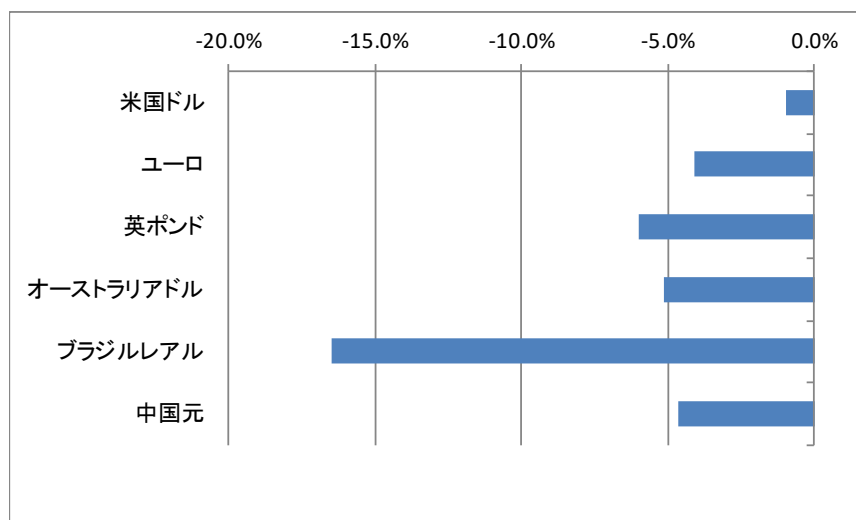
債券市場の概況②

- ▶ 米国債は、途中まで金融引き締め観測が強まって下落したものの、終盤に景気の先行きへの不透明感が拡がり反発。
 - ▶ ユーロ圏の国債は、景気の先行きへの不透明感が拡がり、ドイツ国債が上昇する一方で財政問題への懸念が強まったことを受けてイタリア国債が下落。
 - ▶ 日本国債は、金融緩和の拡大観測が後退したものの、先行きへの不透明感が拡がったことから、方向感の無い動き。
- ▶ **各国の金利の変化(2017/12/7→2018/12/6)***
- ▶ 米国10年: 2.36%⇒2.90%(+0.54%)
 - ▶ ドイツ10年: 0.29%⇒0.24%(-0.05%)
 - ▶ 日本10年: 0.06%⇒0.06%(±0.00%)

* 当社ファンドの基準価額への反映を考慮して、2営業日前の情報を参考として掲載しています。

為替市場の概況

- ▶ **対円の為替相場の変動(2017/12/11→2018/12/10)***
- ▶ 円とドルが堅調。ユーロや英ポンドが軟調。
 - ▶ ブラジルレアルなどの新興国の通貨が下落。

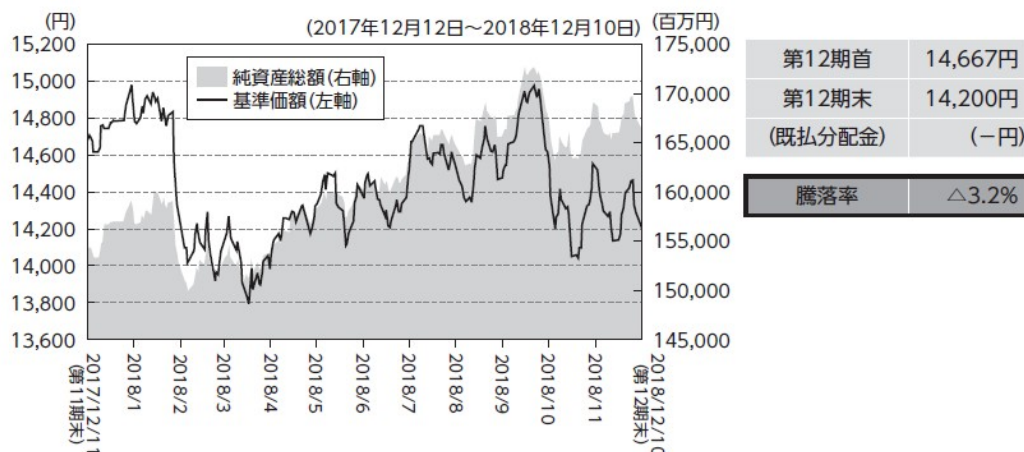


* 当社ファンドの基準価額への反映を考慮して、当日のわが国の対顧客電信売買仲値を利用しています。

期中の基準価額の推移【SVGB】

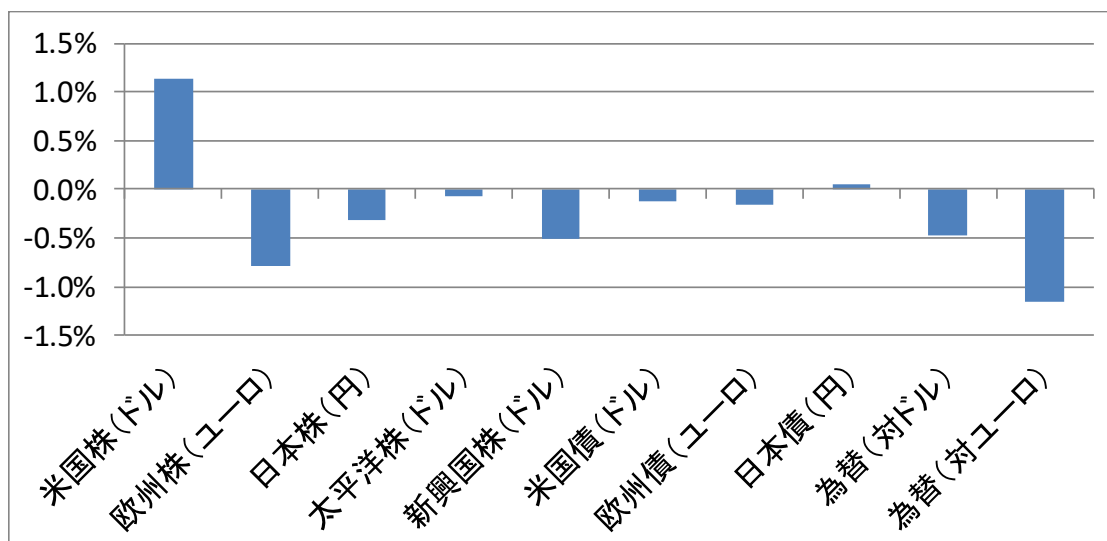
- ▶ 期中の騰落率：-3.2%（14,667円→14,200円）
 - ▶ 株式が米国を除いて下落、債券が日本を除いて下落、為替が対ドル、対ユーロで円高となり、基準価額は下落しました。

期中の基準価額等の推移



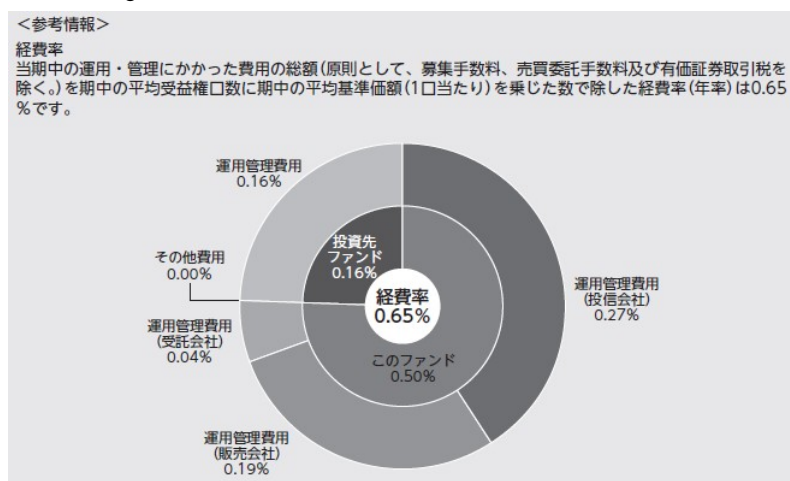
基準価額の主な変動要因【SVGB】

- ▶ 為替、欧州株式、新興国株式がマイナス寄与。
- ▶ 米国株式がプラス寄与。



1万口当たりの費用明細【SVGB】

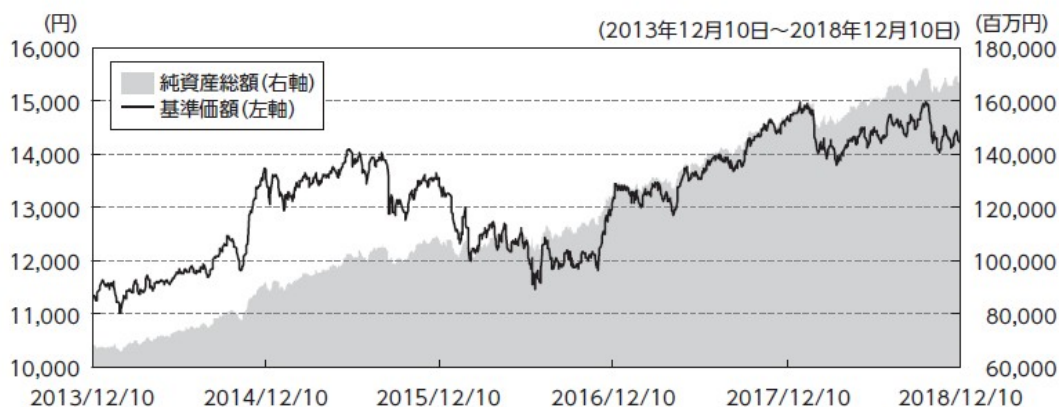
- ▶ 9月に全ての投資先ファンドをより低い手数料のシェアクラスへ移行し、10月には米国株式に投資を行うアイルランド籍のファンドをより低い手数料の米国籍のファンドへ移行しました。



最近5年間の基準価額等の推移①【SVGB】

- ▶ 当期は第10期(2016年12月12日決算)以来のマイナスでした。

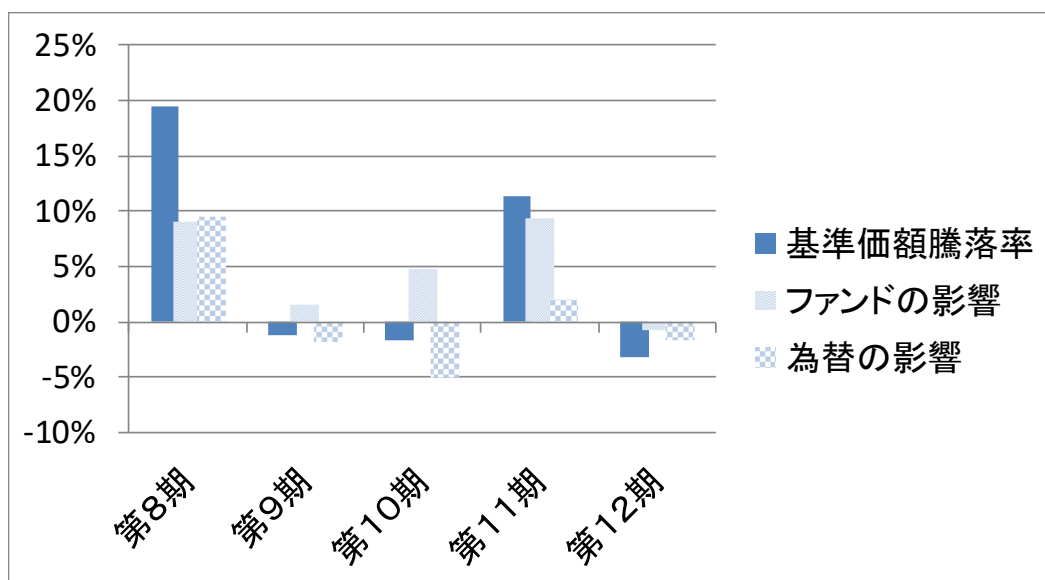
最近5年間の基準価額等の推移



	2013年12月10日 決算日	2014年12月10日 決算日	2015年12月10日 決算日	2016年12月12日 決算日	2017年12月11日 決算日	2018年12月10日 決算日
基準価額	(円) 11,347	13,561	13,406	13,181	14,667	14,200

最近5年間の基準価額等の推移②【SVGB】

- ▶ 投資先ファンドが第5期以来のマイナス寄与、為替は第10期以来のマイナス寄与でした。



運用経過と結果①【SVGB】

- ▶ 購入、リバランスの為の売却、移行を行っています。
- ▶ シェアクラスの変更と米国籍への移行分を除くと、購入額合計が約220億円、売却額合計が約53億円です。また、ファンドの売買回転率は約17%です。(純流入は約11%)

<参考情報>

期中の売買及び取引の状況 (2017年12月12日から2018年12月10日)

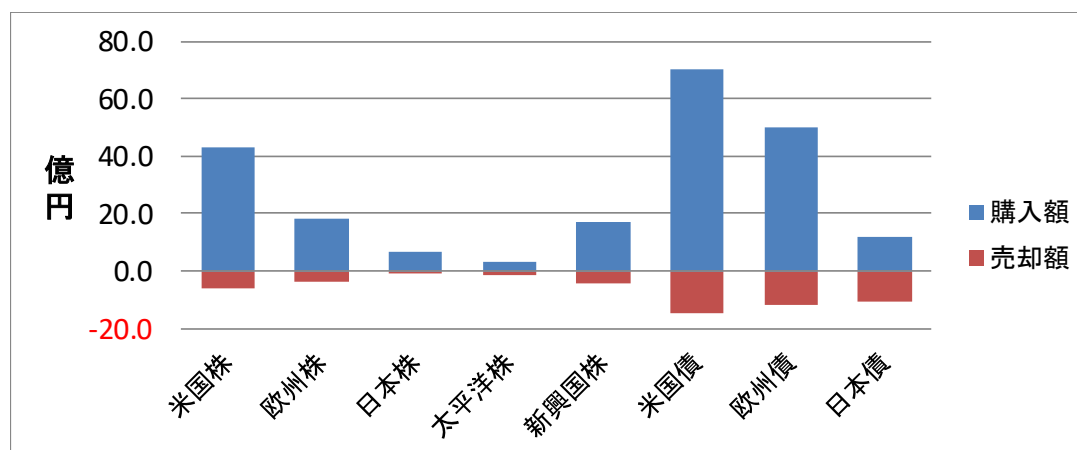
投資証券		買付金額	売付金額
外 国	アメリカ		
	バンガード・インスティテューショナル・インデックス・ファンド	千米ドル 435,896	千米ドル 1,300
	バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	千円 668,600	千円 43,365
	バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	1,193,200	1,050,274
	アイルランド		
	バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド	千米ドル 15,250	千米ドル 416,329
	バンガード・パシフィック・エクススジャパン・ストック・インデックス・ファンド	2,892	1,045
	バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	15,374	3,708
	バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	63,809	13,066
	バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	千ユーロ 13,937	千ユーロ 2,852
	バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	37,911	9,212

・金額は受渡し代金です。

・千単位未満は切り捨てて表示しております。

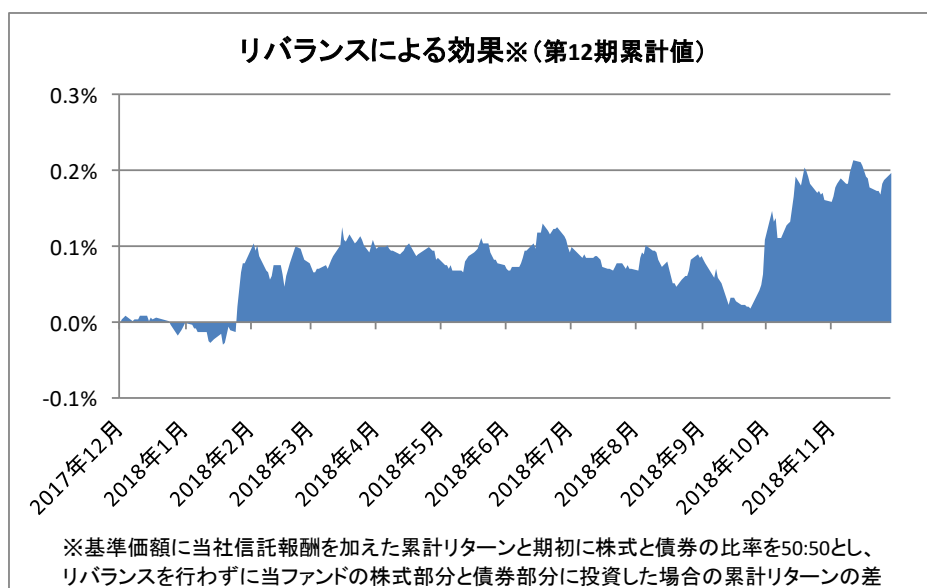
運用経過と結果②【SVGB】

- ▶ 株式ファンドと債券ファンドに投資を行いました。
- ▶ 純投資額は債券ファンドが株式ファンドをやや上回りました。
- ▶ 1月、2月、3月、10月、11月にファンドの売却によるリバランスを実施しました。



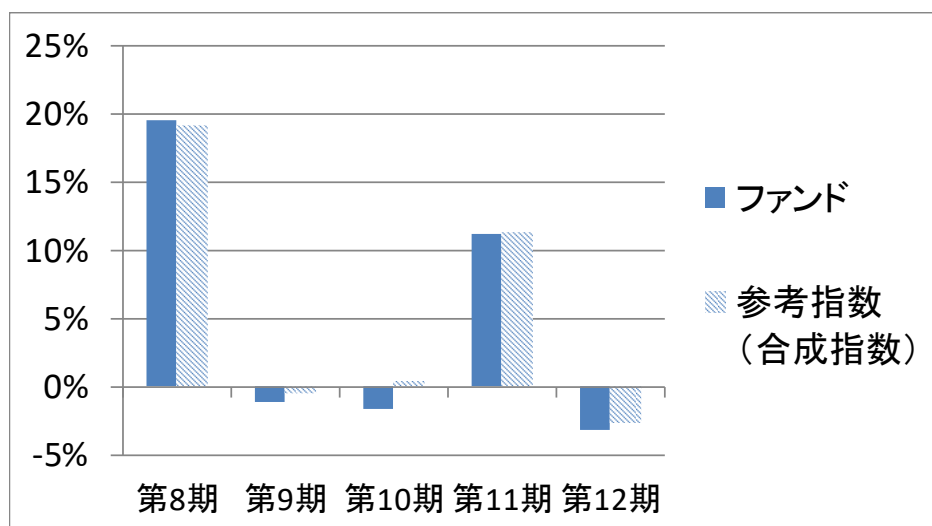
運用経過と結果③【SVGB】

- ▶ 株式市場が循環的な動きをしたため、リバランスを行うことにより、リターンにプラスの効果がありました。



参考指数との差異【SVGB】

- ▶ 概ね株式と債券半々の参考指数と同じ動きでした。
- ▶ 参考指数はベンチマークではありません。また、各期末ごとに株式と債券のリバランスを行うものとして算出しています。



分配金【SVGB】

- ▶ 基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきました。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきました。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第12期
	2017年12月12日～2018年12月10日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,255

・対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

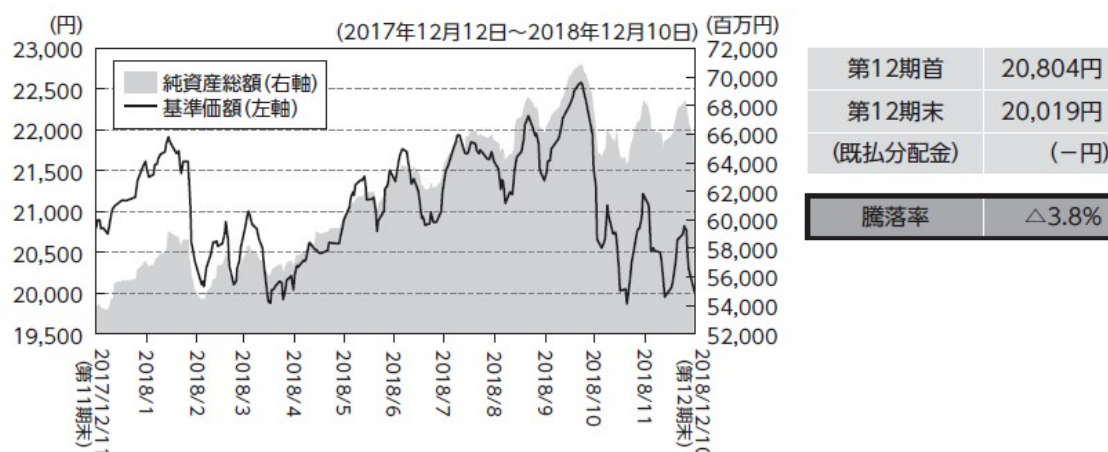
今後の運用方針【SVGB】

- ▶ 定められた投資比率に従い各ファンドへの投資を行います。
- ▶ 原則として新規の流入資金を利用して、定められた投資比率に沿うように分散投資を行い、目標とする比率から一定の乖離が生じた場合はファンドの売却と購入による比率の調整を行います。

期中の基準価額の推移【達人】

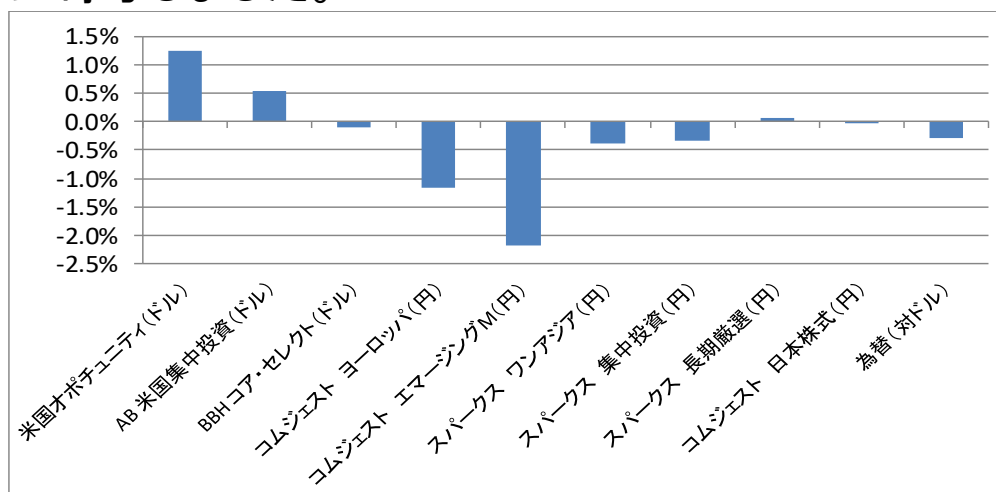
- ▶ 期中の騰落率：-3.8%（20,804円→20,019円）
 - ▶ 株式市場の下落により多くの投資先ファンドが下落したほか、為替市場で円高が進行したことを受けて下落しました。

期中の基準価額等の推移



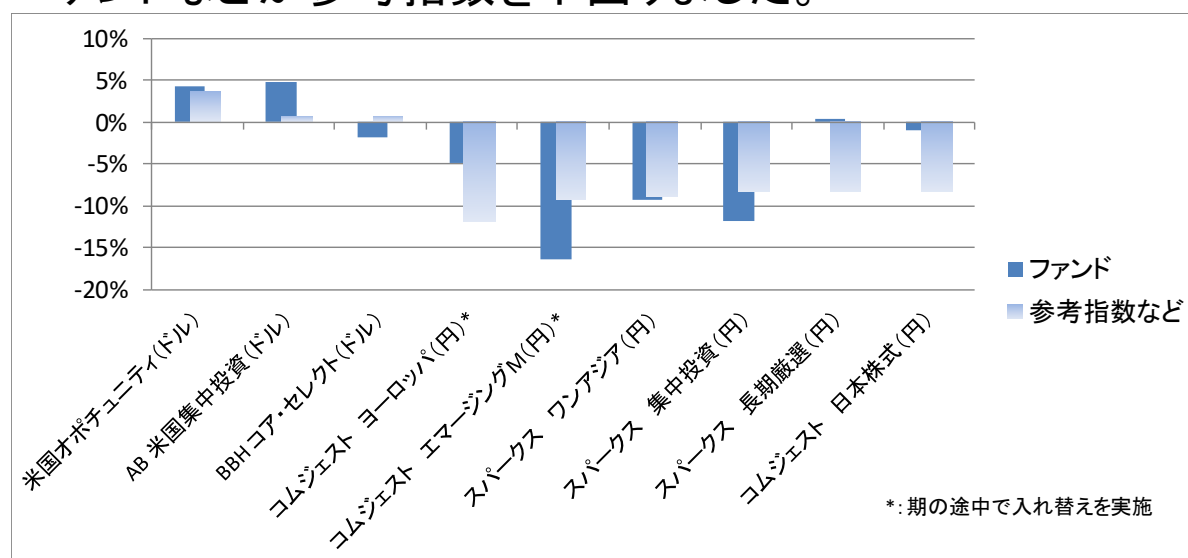
基準価額の主な変動要因①【達人】

- ▶ コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド(円)、コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド(円)などがマイナスに寄与した一方、米国オポチュニティファンド(ドル)などがプラスに寄与しました。



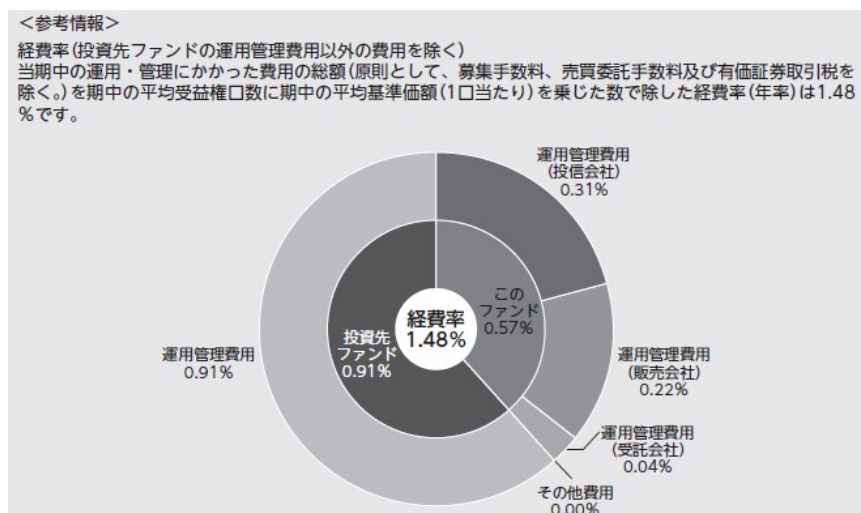
基準価額の主な変動要因②【達人】

- ▶ スパークス・長期厳選・日本株ファンドなどが参考指数を上回る一方で、コムジェスト・エマージングマーケット・ファンドなどが参考指数を下回りました。



1万口当たりの費用明細【達人】

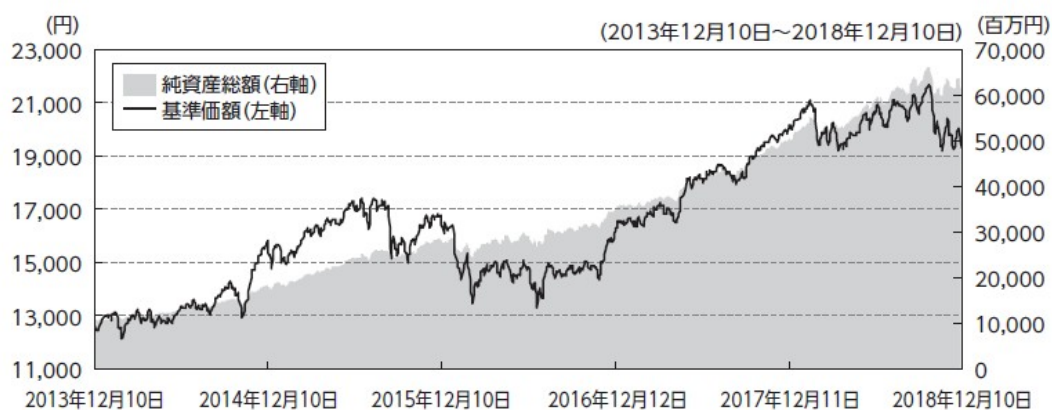
- ▶ 9月にコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドとコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドをより低い信託報酬率が適用される同じ投資方針のファンドへ移行しました。



最近5年間の基準価額等の推移①【達人】

- ▶ 当期は第10期(2016年12月12日決算)以来のマイナスでした。

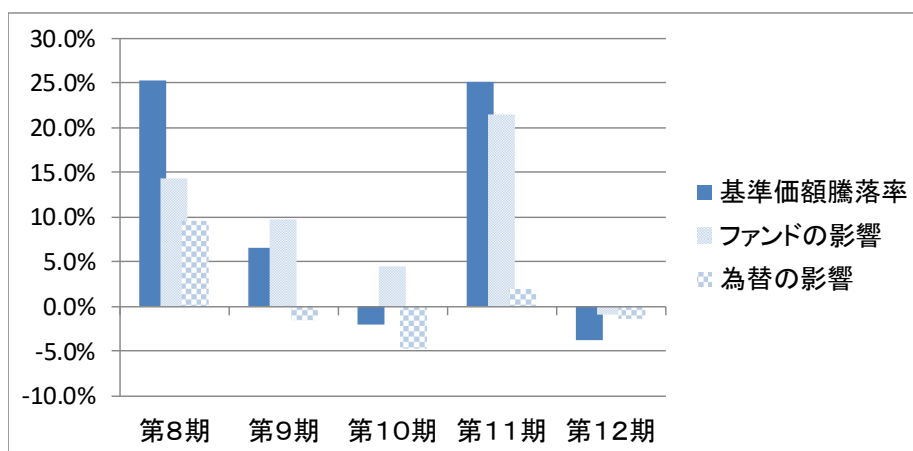
最近5年間の基準価額等の推移



	2013年12月10日 決算日	2014年12月10日 決算日	2015年12月10日 決算日	2016年12月12日 決算日	2017年12月11日 決算日	2018年12月10日 決算日
基準価額 (円)	12,743	15,960	16,995	16,637	20,804	20,019

最近5年間の基準価額等の推移②【達人】

- ▶ 投資先ファンドは、第5期以来のマイナス寄与、為替は第10期以来のマイナス寄与でした。



※コムジェスト・ヨーロッパ・ファンドは、ユーロ建て、
コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド、
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドは米ドル建てで計算

運用経過と結果①【達人】

- ▶ 移行分を除く購入額は約139億円です。また、ファンドの
売買回転率は約23%です。(純流入は約25%)

<参考情報>

期中の売買及び取引の状況 (2017年12月12日から2018年12月10日)

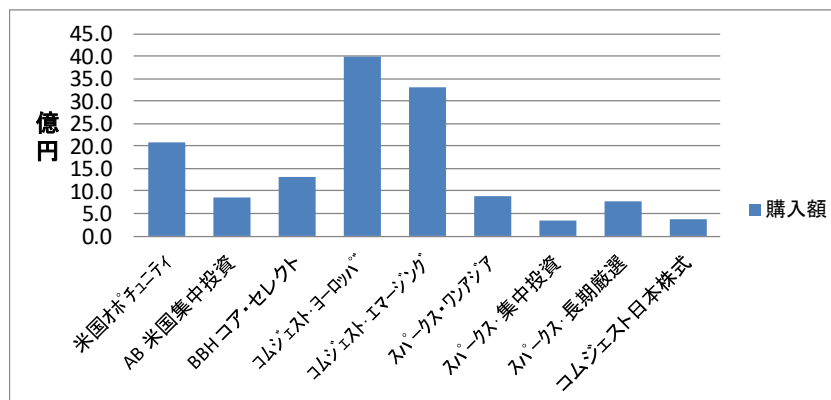
投資信託受益証券		買付 金額	売付 金額
国内	ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA (適格機関投資家限定)	千円 2,985,000	千円 18,563,296
	コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80 (適格機関投資家限定)	19,580,000	—
	ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA (適格機関投資家限定)	2,655,000	8,052,432
	コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90 (適格機関投資家限定)	8,695,000	—
	スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS (適格機関投資家限定)	895,000	—
	スパークス・集中投資・日本株ファンドS (適格機関投資家限定)	340,000	—
	スパークス・長期厳選・日本株ファンド (適格機関投資家限定)	760,000	—
	コムジェスト日本株式ファンド (適格機関投資家限定)	365,000	—
投資証券		買付 金額	売付 金額
外国	アルゼンチン バンガード米国オポチュニティファンド	千米ドル 18,800	千米ドル —
	ルゼマ アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト	7,700 12,029	— —

・金額は受渡し代金です。

・千単位未満を切り捨てて表示しております。

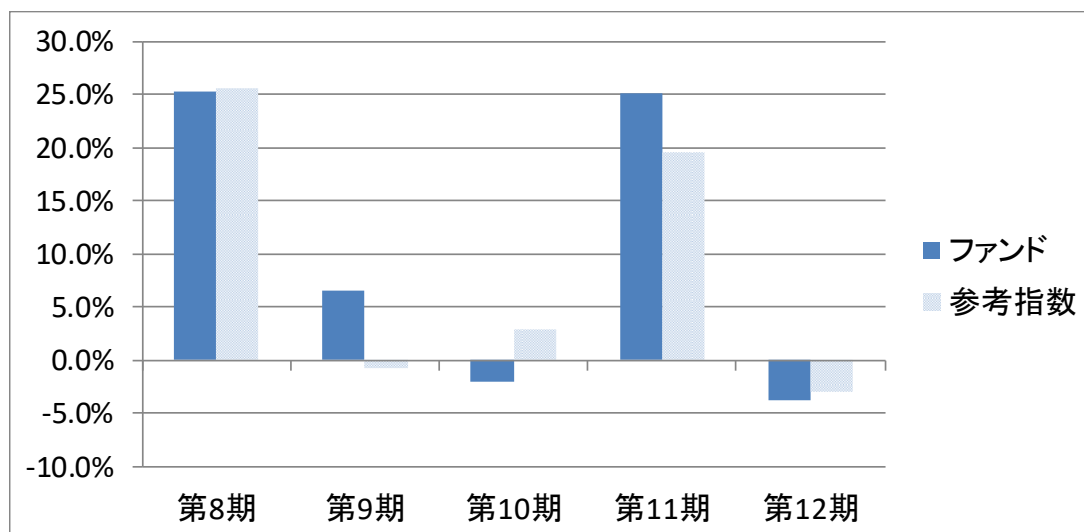
運用経過と結果②【達人】

- ▶ 相対的に軟調な値動きとなった「コムジェスト・エマージングマーケッツ・ファンド」、「スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド」への投資額が目標比率に対して高めであった一方で、堅調な値動きが続いた「アライアンス・バーンスタイン米国株式集中投資ファンド」、「米国オポチュニティファンド」への投資比率が低めでした。



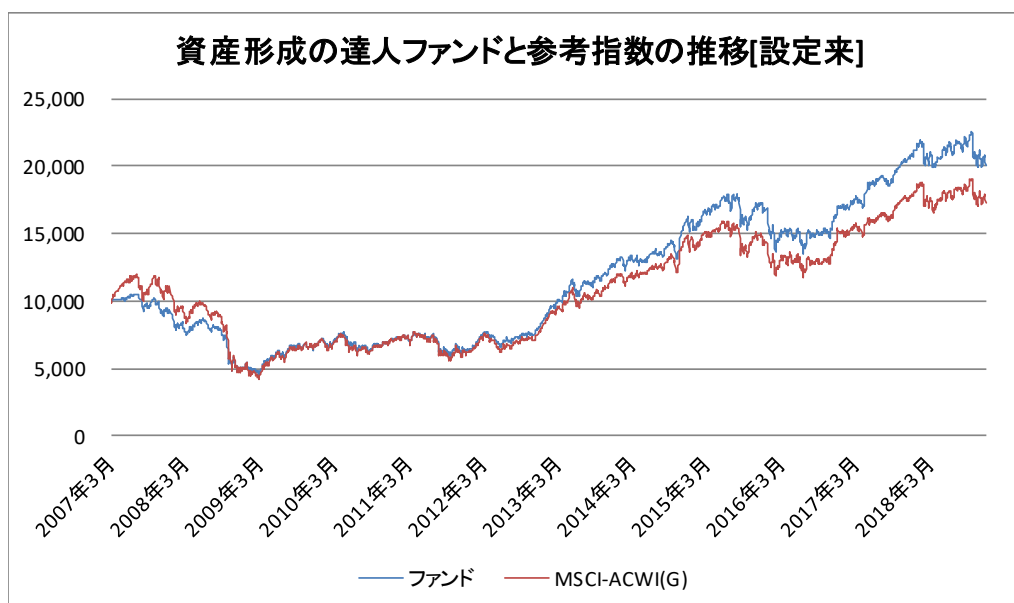
参考指数との差異①【達人】

- ▶ 当期は、参考指数であるMSCI オールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)を下回りました。



参考指数との差異②【達人】

- ▶ 設定来では、参考指数であるMSCI オールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)を上回っています。



参考指数との差異③【達人】

- ▶ 当期は、ファンドの寄与、地域別配分等(信託報酬を含む)の寄与が共にマイナスでした。

	基準価額	参考指数※	差異	ファンド の寄与	地域別配分 の寄与等*
設定来	100.2%	72.5%	27.7%	23.1%	4.6%
第8期	25.2%	25.6%	-0.4%	0.7%	-1.1%
第9期	6.5%	-0.8%	7.3%	7.1%	0.2%
第10期	-2.1%	3.0%	-5.1%	-4.5%	-0.5%
第11期	25.0%	19.5%	5.5%	4.0%	1.5%
第12期	-3.8%	-3.0%	-0.8%	-0.4%	-0.3%

※MSCI オールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)

*地域別配分比率の寄与等には、当ファンドの信託報酬が含まれています。

また、投資対象地域はセゾン投信(株)の判断に基づいて分類しています。

分配金【達人】

- ▶ 基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきます。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきます。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第12期
	2017年12月12日～2018年12月10日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	11,944

・対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

基本となる考え方【達人】

- ▶ 価格の動きを予測しない。
 - ▶ 価格は長期では価値に大きく影響を受ける。
 - ▶ 長期での循環的な価格の動きを味方につける。
- ▶ 価値に対して割安と考えるものだけを購入する。
 - ▶ 高い値段で買うことが、長期的に資産を失うことにつながる。
 - ▶ ただし、割安であってもすぐに上昇するとは限らず、割高であってもすぐに下落するとは限らない。
- ▶ 他人の成功を妬まない。
 - ▶ 短期的に他の人よりも成果が劣っているからといって、上手く知っている人の真似をしない。

今後の運用方針【達人】

- ▶ 価値があるものを安く購入することが高い収益を獲得することにつながり、価値を見極める能力と割高なものを保有しない規律を守ることが資産を失う可能性を減らすという認識のもとで、長期的な視点での銘柄選択に特化したファンドへの分散投資を行い、株式への投資比率を高位に保ってまいります。
- ▶ また、地域別の投資比率やファンドごとの投資比率は、より多くの投資機会を活用するために幅広く分散投資を行うことを基本とし、構造的な変化に対応した見直しを行いながら、短い期間では市場の関心の移り変わりなどにより相対的に割高なものと割安なものが入れ替わっていくことを念頭に置いたうえで、一定の比率を維持してまいります。

積立の平均約定金額と平均基準価額の比較

- ▶ セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド
 - ▶ 基準価額の平均: 10,501円
 - ▶ 積立による平均取得価格: 10,507円(+0.06%)
 - ▶ 積立による平均取得単価: 9,848円(-6.21%)
- ▶ セゾン・資産形成の達人ファンド
 - ▶ 基準価額の平均: 11,719円
 - ▶ 積立による平均取得価格: 11,740円(+0.18%)
 - ▶ 積立による平均取得単価: 9,694円(-17.28%)
- ▶ 対象期間
 - ▶ 積立: 2007年5月～2018年11月(139回)
 - ▶ 基準価額: 2007年5月1日～2018年11月30日

※平均取得価格は約定金額の平均、平均取得単価は1万口あたりの約定金額の平均

受益者の皆様の運用成果（設定来）

▶ セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

- ▶ 基準価額上昇率:3.0%/年
- ▶ 金額加重収益率(インベスターリターン)5.3%/年

▶ セゾン資産形成の達人ファンド

- ▶ 基準価額の上昇率:6.1%/年
- ▶ 金額加重収益率(インベスターリターン)※:8.9%/年

※金額加重収益率(インベスターリターン)は、
設定来の全ての受益者による投資金額の平均収益率です。

MEMO

第12期運用報告会



ファンドコンサルティングパートナーズ 代表
セゾン投信 エグゼクティブアドバイザー
房前督明

このテキストのいかなる部分も一切の権利はFCPに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

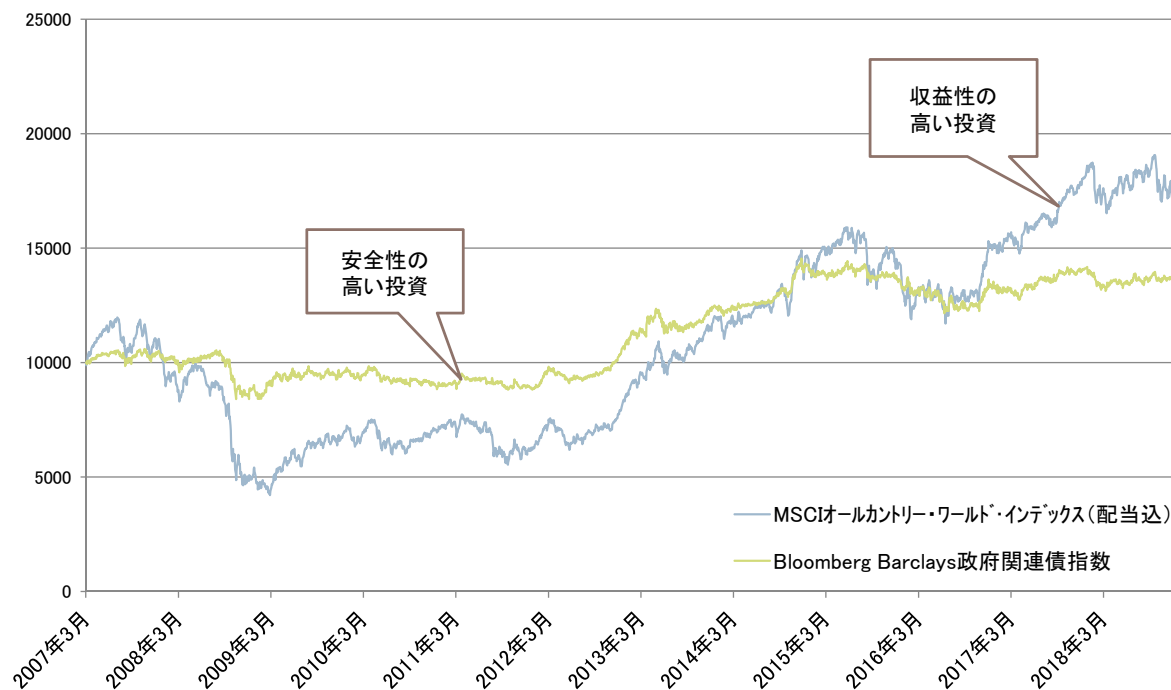
1.セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

【運用の目的】

- ・市場の時価総額を基準として、世界の株式と債券に
1:1の割合で投資する
- ・価格変動に応じて、定期的にリバランスを行う
- ・為替ヘッジは原則として行わない

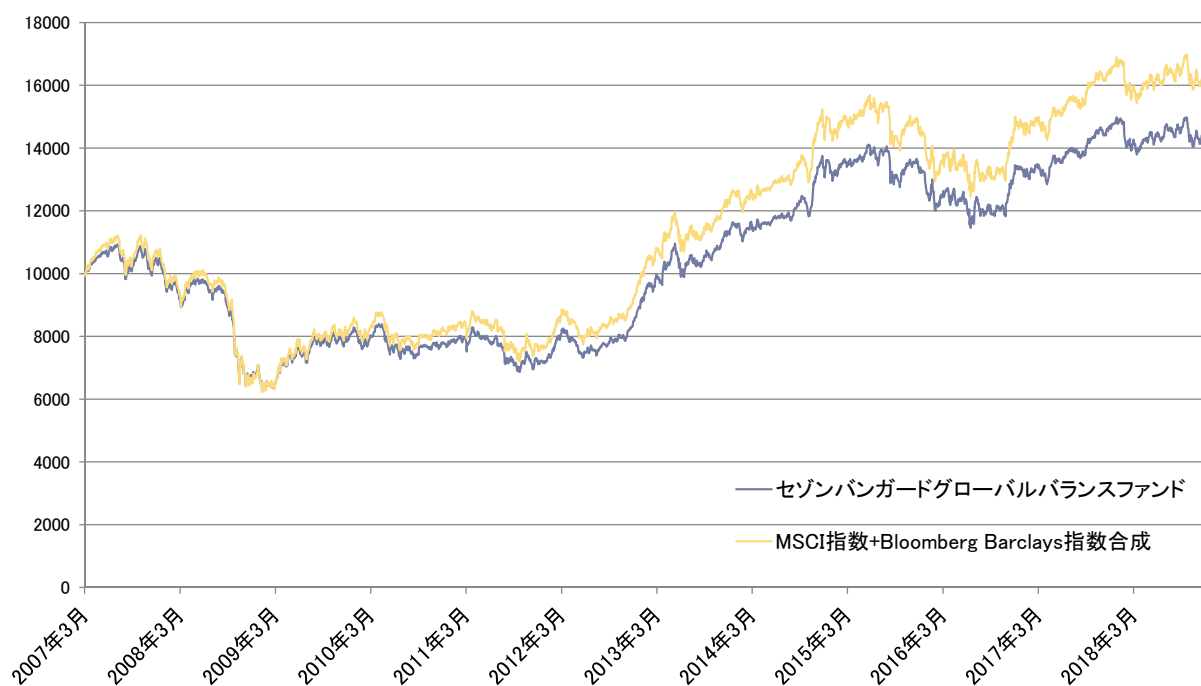
1.セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

【運用のイメージ】



1.セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

【合成指数とファンドの基準価額の比較】



1.セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

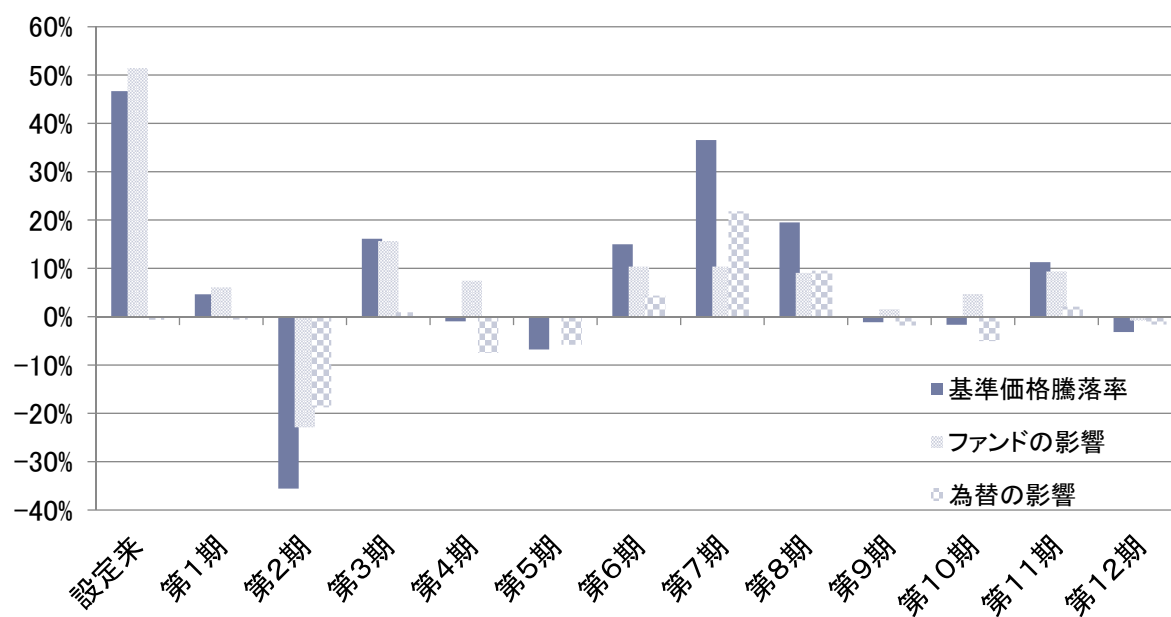
【リスクとリターンの特性】

	セゾン バンガード グローバル バランスファンド	MSCIオールカントリー・ ワールド・インデックス (配当込)	Bloomberg Barclays 政府関連債指数	MSCI指数 +Bloomberg Barclays 指数合成
年換算収益率	3.03%(3.63%)	4.74%(5.49%)	2.68%(3.25%)	4.07%(4.75%)
年換算標準偏差	11.3%(11.5%)	19.3%(19.6%)	11.6%(11.9%)	13.6%(13.9%)

()内は設定来から前期第11期末まで

1.セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

【期別の変動要因(ファンド(株、債券)、為替】



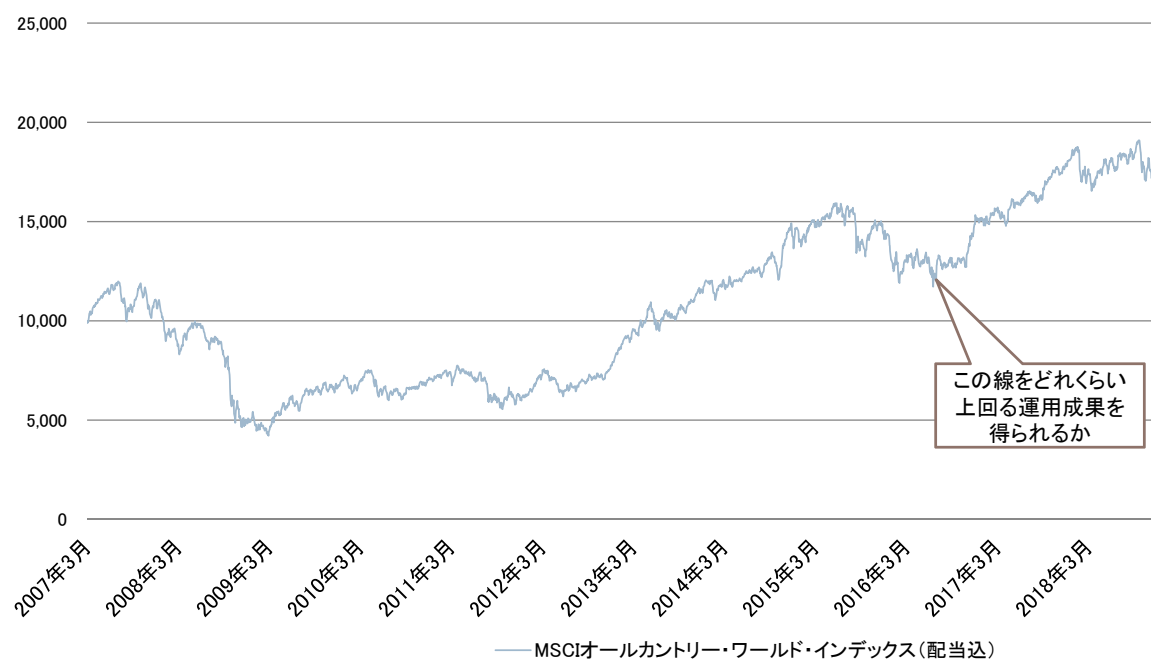
2. セゾン資産形成の達人ファンド

【運用の目的】

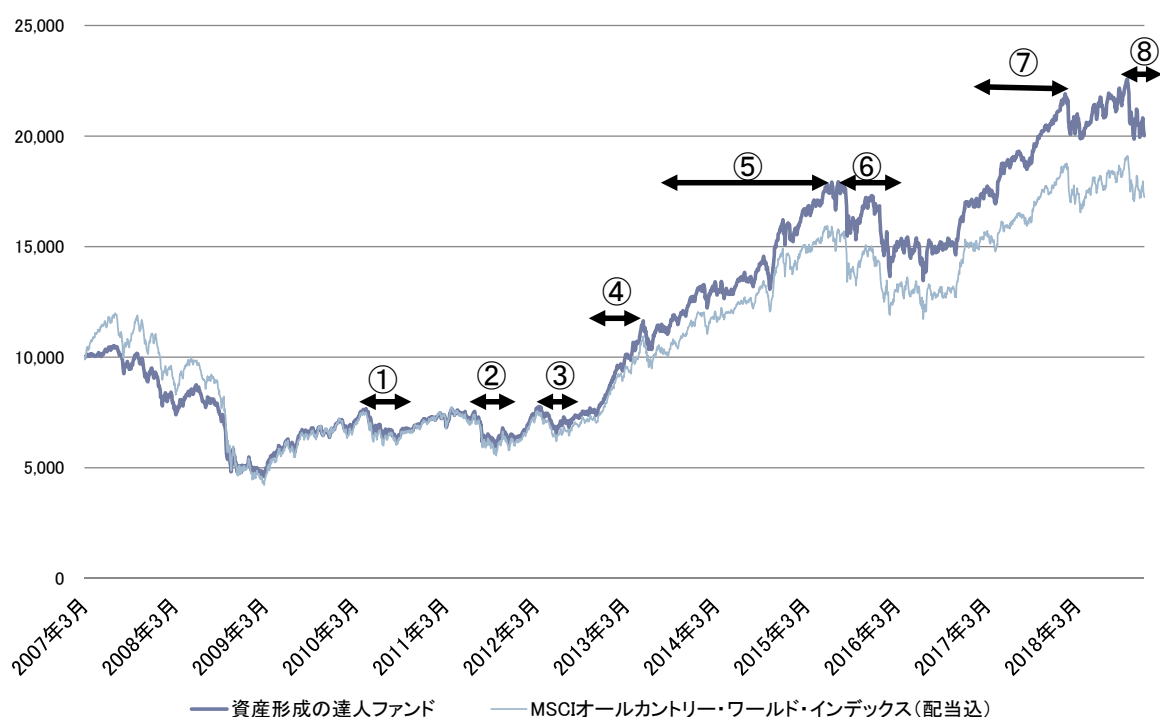
- ・世界におけるグッドカンパニーの株式に割安に投資することにより、市場平均を上回るリターンの獲得を目指すファンドを見つけてそのファンドに投資する
- ・為替ヘッジは原則として行わない

2. セゾン資産形成の達人ファンド

【運用のイメージ】



3. セゾン資産形成の達人ファンド



2. セゾン資産形成の達人ファンド

【ファンドの選択効果】

	基準価額	参考指数※	差異	ファンド の寄与	地域別配分の 寄与等※※
設定来	100.2%	72.5%	27.7%	23.1%	4.6%
第1期	-5.1%	9.9%	-15.0%	0.1%	-15.1%
第2期	-47.2%	-54.3%	7.1%	-1.9%	9.0%
第3期	32.3%	31.0%	1.3%	4.0%	-2.7%
第4期	7.3%	6.3%	1.0%	1.7%	-0.6%
第5期	-10.0%	-11.5%	1.5%	1.4%	0.1%
第6期	24.2%	22.2%	2.0%	5.3%	-3.3%
第7期	60.2%	53.1%	7.1%	4.3%	2.8%
第8期	25.2%	25.6%	-0.4%	0.7%	-1.1%
第9期	6.5%	-0.8%	7.3%	7.1%	0.2%
第10期	-2.1%	3.0%	-5.1%	-4.5%	-0.5%
第11期	25.0%	19.5%	5.5%	4.0%	1.5%
第12期	-3.8%	-3.0%	-0.8%	-0.4%	-0.3%

※MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)

※※地域別配分比率の寄与等には当社の信託報酬が含まれています

2. セゾン資産形成の達人ファンド

【組入ファンドの組入れ来のパフォーマンス】

ファンド名 参考指数	年率換算複利リターン (円建て)	年率換算標準偏差 (円建て)
バンガード・米国オポチュニティファンド ラッセル3000種指数	11.7% 7.5%	23.8% 22.2%
AB・米国集中投資株式ファンド S & P500指数	6.6% 5.8%	19.2% 18.1%
BBHコア・セレクト・ファンド S & P500指数	3.9% 6.3%	14.9% 16.0%
コムジェスト・ヨーロッパファンド MSCIヨーロッパ指数	7.2% 2.0%	21.5% 26.9%
コムジェスト・エマージングマーケットファンド MSCIエマージング指数	4.3% 2.5%	23.2% 24.8%

2. セゾン資産形成の達人ファンド

【組入ファンドの組入れ来のパフォーマンス】

ファンド名 参考指数	年率換算複利リターン (円建て)	年率換算標準偏差 (円建て)
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド MSCIアジア太平洋指数	-0.7% 1.1%	15.3% 17.9%
スパークス・集中投資・日本株ファンド TOPIX	17.0% 8.7%	19.9% 19.5%
スパークス・長期厳選・日本株ファンド TOPIX	22.4% 13.8%	17.6% 19.2%
コムジェスト日本株式ファンド TOPIX	12.9% 9.0%	16.2% 16.2%

2. セゾン資産形成の達人ファンド

【組入ファンドの組入れ来のパフォーマンスに関する注記事項】

各ファンドの組み入れ開始日(当ファンドの評価日基準)は、

バンガード 米国オポチュニティファンドは2007年8月15日

コムジェスト・ヨーロッパ・ファンドは2008年3月12日

コムジェスト・エマージングマーケット・ファンドは2008年3月31日

スパークス・集中投資・日本株ファンドS<適格機関投資家限定>は2010年3月19日

スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>は2011年9月13日

アライアンス・バーンスタインSICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ(クラスI)は2015年3月23日

スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS<適格機関投資家限定>は2015年3月24日

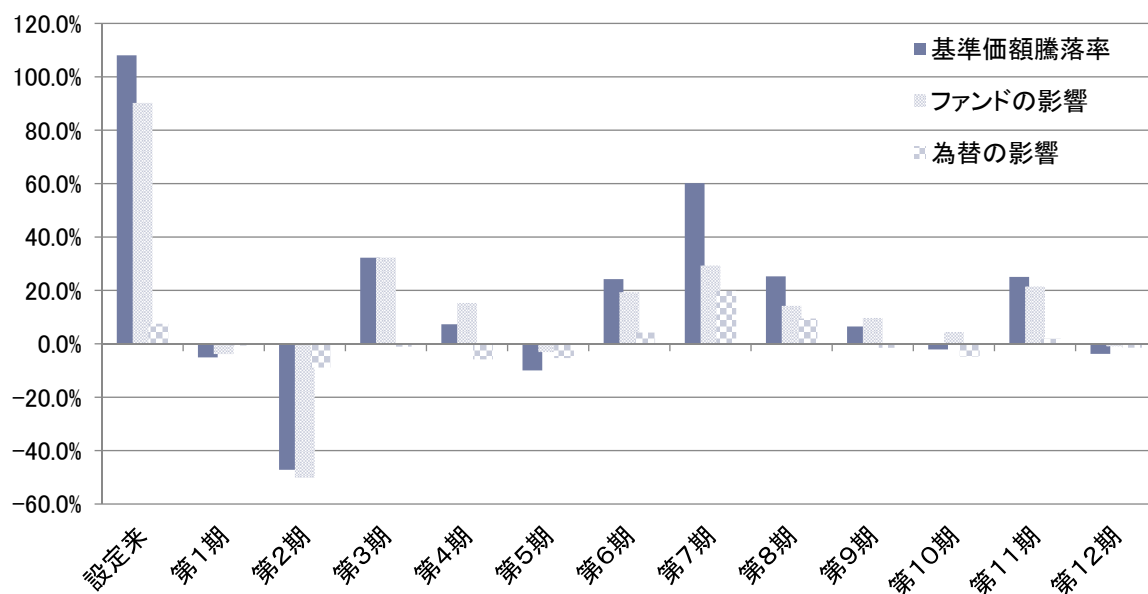
コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)は2016年3月14日

BBHコア・セレクト・ファンドは2017年3月14日 です。

データは、Bloombergから取得しています。

2. セゾン資産形成の達人ファンド

【期別の変動要因(ファンド、為替)】



※コムジェストヨーロッパファンドはユーロ建て、コムジェストエマージングマーケットファンド、スパークスワンアジア厳選投資ファンドは米ドル建てで計算しています。

2. セゾン資産形成の達人ファンド

【リターンとリスクの特性】

	資産形成の 達人ファンド	MSCIオールカントリー・ ワールド・インデックス (配当込)
年換算収益率	6.1%(7.1%)	4.7%(5.5%)
年換算標準偏差	15.9%(16.3%)	19.3%(19.8%)

()内は設定来から前期第11期末まで

2. セゾン資産形成の達人ファンド

	<下げ局面>	基準価額	MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)	差異
①	2010/04/27	7,669	7,493	
	2010/09/01	6,222	6,077	
	騰落率	-18.86%	-18.90%	+0.04%
②	2011/04/08	7,654	7,739	
	2011/10/05	5,869	5,560	
	騰落率	-23.32%	-28.16%	+4.84%
③	2012/03/28	7,768	7,475	
	2012/07/26	6,830	6,440	
	騰落率	-12.07%	-13.85%	+1.78%
⑥	2015/08/12	17,842	15,694	
	2016/02/15	13,653	11,911	
	騰落率	-23.48%	-24.10%	+0.62%
⑧	2018/11/09	21,215	18,205	
	2018/12/10	20,019	17,246	
	騰落率	-5.64%	-5.27%	-0.37%

2. セゾン資産形成の達人ファンド

	＜上げ局面＞	基準価額	MSCIオールカントリー・ ワールド・インデックス (配当込)	差異
④	2012/11/12	7,393	7,043	
	2013/05/23	11,639	10,928	
	騰落率	+57.43%	+55.16%	+2.27%
⑤	2013/06/14	10,358	9,537	
	2014/12/10	15,960	14,550	
	騰落率	+54.08%	+52.56%	+1.56%
⑦	2017/8/22	18,497	15,935	
	2017/12/11	20,804	17,782	
	騰落率	+12.47%	+11.59%	+0.88%

※設定日を10,000として換算した値

2. セゾン資産形成の達人ファンド

ダウンサイド キャプチャーレシオ	80.3%
アップサイド キャプチャーレシオ	88.0%

※計測期間は2007年4月～2018年11月（月次ベース）

MEMO

付 録

(付録) 運用報告会でよく使われる用語集

・アップサイド/ダウンサイド・キャプチャー・レシオ

上昇相場と下落相場のそれぞれで投資信託がベンチマークをどの程度上回ったか下回ったかを表す指標。

・インベスターリターン(金額加重収益率)

実際の投資行動の結果、投資家が得た平均的な収益率。

・トータルリターン

投資家が一定期間そのファンドを保有し続けたと仮定した場合の収益率。

・ファンダメンタルズ分析

マクロ経済、産業動向、個別企業などの経済的基礎要因を基に行う分析のこと。

・騰落率

基準価額の変動と支払われた分配金を組み合わせて算出し、投資信託のリターンを測るための数値のこと。

・標準偏差

どれだけばらつきがあるのかを示す値のこと。投資信託においてはリスクの度合いを測ることが多い。

・ベンチマーク

投資信託を運用する際に目標とする基準、あるいはパフォーマンスを評価する基準のこと。

・リバランス

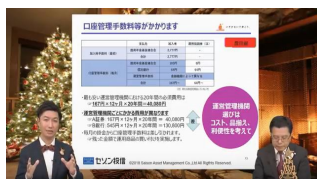
ポートフォリオ運用を行う際に、相場の変動などにより変化した投資配分の比率を調整すること。

・シャープレシオ

1リスク単位に対するリターンを算出し、リスクに対しどれだけのリターンを得たのかを示す、リスク調整後リターンの代表的な指標。

(付録) セゾン投信がお届けする動画ラインナップ

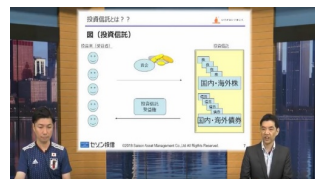
◆ オンラインセミナー動画



「じぶん年金、iDeCoを始めよう！」
出演：房前 督明、福田 隆

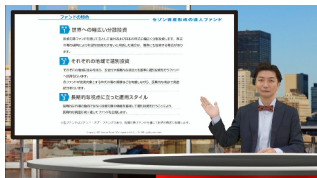


「つみたてNISAの活用法」
出演：房前 督明、福田 隆



「いちから学ぶ投資信託仕組み講座」
出演：市本 宏、福田 隆

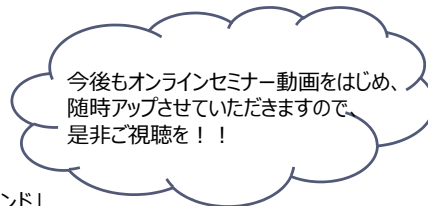
◆ 商品説明動画



「資産形成の達人ファンド」
出演：福田 隆



「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」
出演：福田 隆



◆ スペシャル対談動画



「資産形成における＜長期投資＞の魅力とは？」

出演：セゾン投信

代表取締役社長 中野晴啓

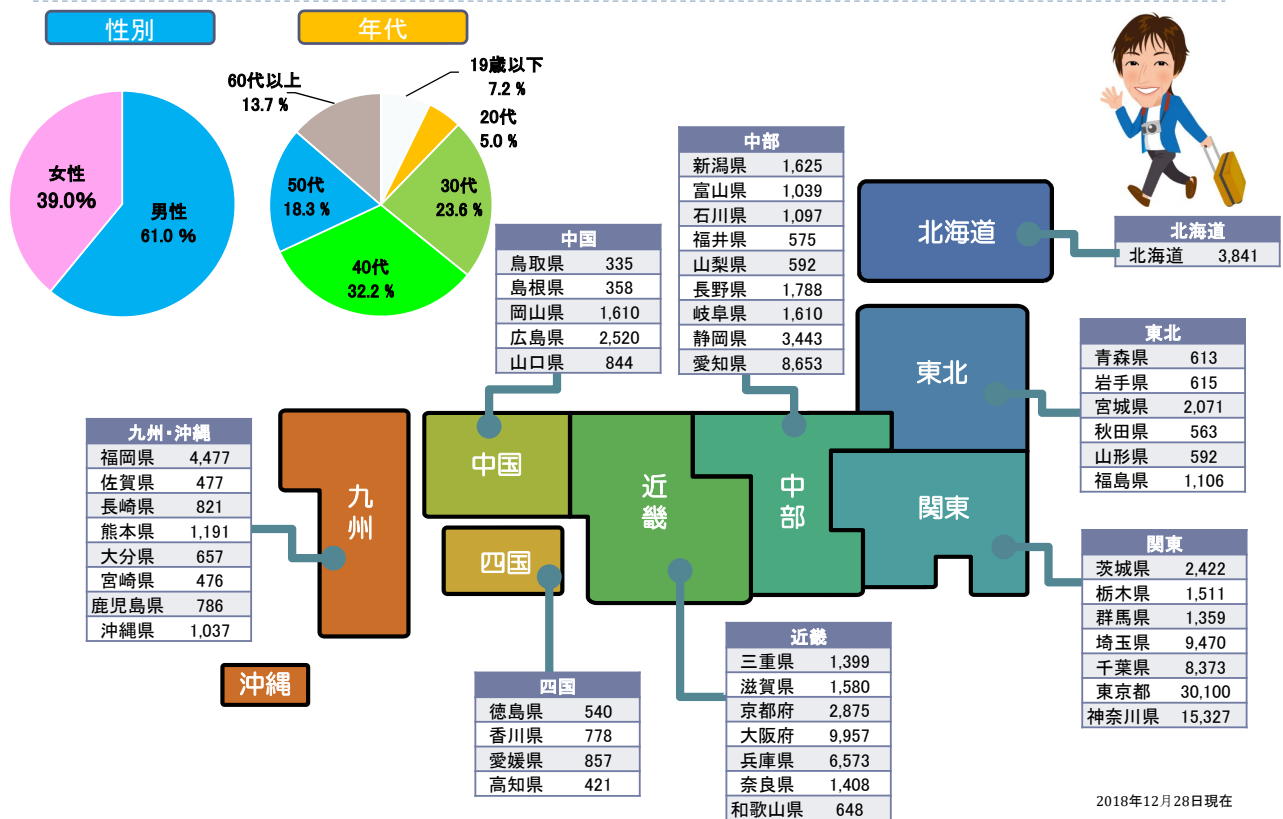
バンガード・インベストメンツ・ジャパン

代表取締役社長 デビッド・キム

セゾン投信のサイトまたはQRコードよりご視聴いただけます!!

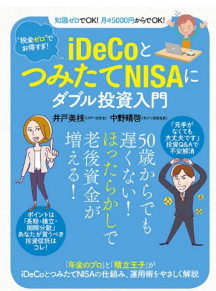


(付録) お客さまの特徴&都道府県別お客さまマップ



(付録) セゾン投信を知る出版物

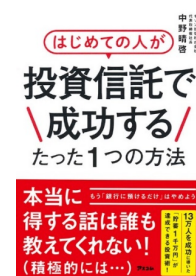
“税金ゼロ”でお得すぎ！
iDeCoとつみたてNISAにダブル投資入門



最新刊

著者：井戸美枝 中野晴啓
出版社：扶桑社
発売日：2018年11月29日
定価：1,000円（税別）

はじめての人が
投資信託で成功するたった1つの方法



著者：中野晴啓
出版社：アスコム
発売日：2017年12月16日
定価：1,300円（税別）

普通の会社員が一生安心して
過ごすためのお金の増やし方



著者：中野晴啓
出版社：SBクリエイティブ
発売日：2017年12月6日
定価：800円（税別）

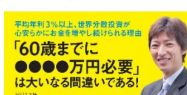
お金のウソ
親の常識は、これからの非常識！



著者：中野晴啓
出版社：ダイヤモンド社
発売日：2017年7月5日
定価：1,500円（税別）

個人型確定拠出年金iDeCoで選ぶべきこの7本！
50歳でも30歳でも3500万円つくれる35の法則

50歳でも30歳でも3500万円つくれる35の法則
**個人型iDeCo
確定拠出年金
で選ぶべき
この7本！**



著者：中野晴啓
出版社：ビジネス社
発売日：2017年5月1日
定価：1,400円（税別）

つみたてNISAやiDeCoなどの制度をはじめ、長期投資の考え方など皆さまの資産形成の一助となるよう、様々な書籍を出版しています。

ぜひ書店等でご覧ください。

ご留意事項

- ▶ 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。その結果、購入時の価額を下回ることもあります。また、投資信託へご投資の際は、信託報酬等所定の費用がかかります。各投資信託のリスク、費用等については投資信託説明書(交付目論見書)に詳しく記載されております。
- ▶ ご購入に際しては、必ず投資信託説明書(交付目論見書)を十分お読みいただき、内容をご確認のうえご自身でご判断ください。
- ▶ MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。「MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス」は先進国23カ国と新興国24カ国の計47カ国で構成されており、世界の株式市場の値動きを表す指数です。
- ▶ ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

ご留意事項

- ▶ S&P500指数は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス(S&P DJI)の商品です。この指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&P DJIに帰属します。
- ▶ S&P DJIは当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&P DJIは当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかんにかかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&P DJIは当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&P DJIはファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失(収入の損失、利益の損失、機会費用を含む)について一切の責任を負いません。
- ▶ 特に断りが無い限り、参考指数は当日のわが国の対顧客電信売買仲値を利用して円換算しています。
- ▶ 本資料は、セゾン投信が作成した資料であり、当該内容について委託する販売会社が何ら示唆・保証するものではありません。

商号:セゾン投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号
加入協会:一般社団法人投資信託協会



いそがないで歩こう。